GRIPSURE®
keeps you on your feet

*Now available in Japan*

# CREATING SAFE AND BEAUTIFUL SPACES

## WITH NON-SLIP DECKING

グリップシュア・ノンスリップシステム

# NON-SLIP DECKING
## SAFETY WITHOUT COMPROMISE

### 足元に安心を

グリップシュア・ノンスリップシステムは、業界最大手の英国グリップシュア社が開発したウッドデッキの床板に特化した滑り止め加工です。グリップシュアの滑り止めは今まで17年以上にわたり、雨の日や歩行面に砂や泥が上がやすい環境でも優れた滑り止め効果を発揮し足元に確かなグリップを提供して来ています。

グリップシュアの滑り止めは屋外でも優れた耐久性能を持つエポキシ樹脂接着剤を使用して骨材を固定しています。骨材には厳選された焼成ボーキサイト(RASC)を使用し、非常に高い耐研磨および耐摩耗性能と硬度を持っています。

**骨材の物性**

| | |
|---|---|
| 研骨材破砕値(PSV) | 72　BS812規格 |
| 耐摩耗性値(AAV) | 1.6　EN 1097-8規格 |
| モース硬度(Mohs) | 9 |

滑り止め効果を測定する方法に、"Portable Skid Resistance Tester"を使用するイギリスで開発された方法があり、舗装面のすべり抵抗値の測定法として多くの国で採用されています。この方法で測定された値をPTV値(Pendulum Test Value)あるいはBPN(British Pendulum-test Number)といいます。
この方法は、図1にあるように振り子の原理を応用したもので、規定のゴム片が取り付けられた振り子形の重りを試験体の表面を滑走するように振り下ろして、試験体のすべり抵抗を計ります。
この方法により測定されたすべり抵抗値(PTV)の数値は、イギリス防滑グループのガイドライン(UK Slip Resistance Group Guidelines)によって右のように3つのクラスに分類され、またPTV値が65以上については「すべる危険性は非常に低い」と言われています。

PTV値は、使用される木材の種類や滑り止めの幅や本数などにより異なりますが、グリップシュア・ノンスリップシステムを施した床板はいずれも非常に高い初期数値を示し、10年以上使用された後も「すべる危険性は非常に低い」とされるPTV値を大きく上回る数値が得られることが検証されています。

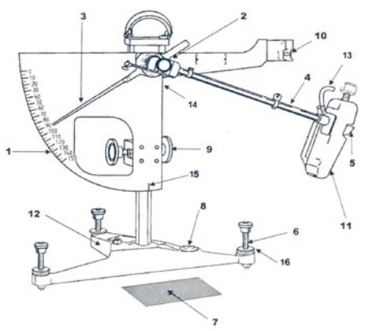



図1　振り子式測定器の例：Munro Stanley Pendulum
出典　The UK Slip Resistance Group Guidelines - Issue 5, October 2016

| PTV値 | すべる危険性 |
|---|---|
| 0～24 | 高い |
| 25～35 | 或る程度ある |
| 35以上 | 低い |

# NON-SLIP DECKING

## Products

### Gripsure Accoya® Decking

高耐久化天然木材「アコヤ」にグリップシュアの
滑り止めを加工

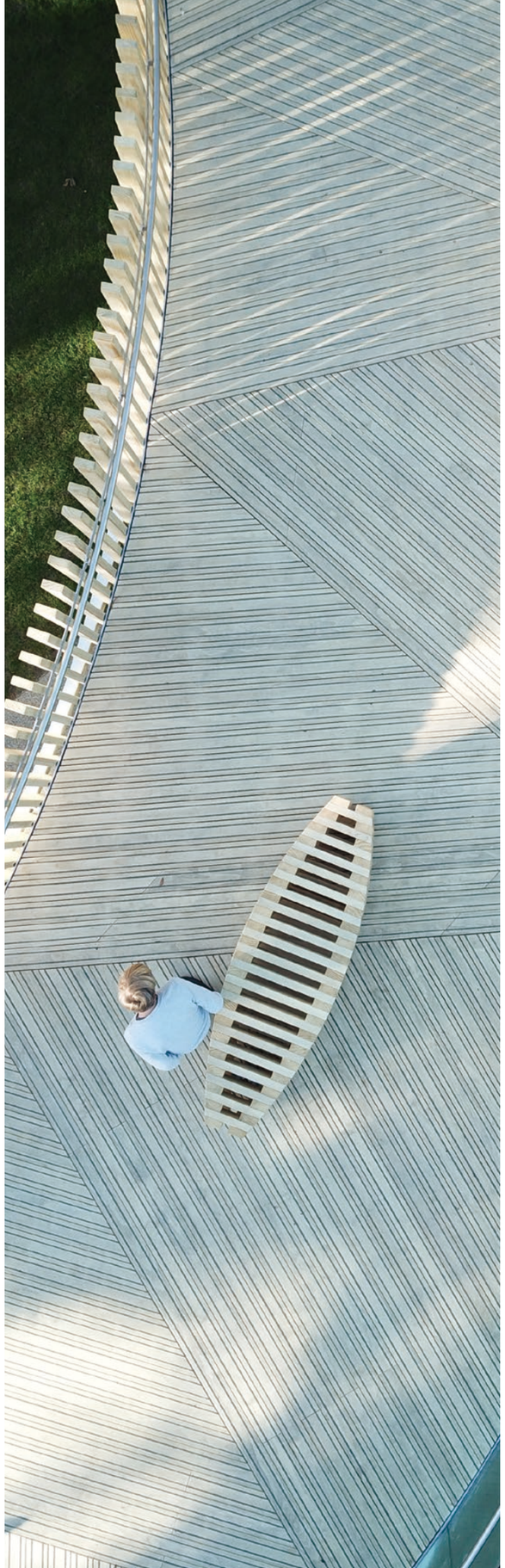
アコヤは天然の木材が含んでいない成分を含まない安全な改質木材です。アコヤの優れた防腐性能と寸法安定性能は、地上での使用で50年、淡水中および地中での使用で25年のメーカー保証があります。

サイズ（厚み×幅）：19×140mm　および　26×140mm

滑り止めライン：

| Gripsure Accoya® Decking | PTV値<br>平均 | PTV値<br>ウェット平均 | PTV値<br>ドライ平均 |
|---|---|---|---|
| すべり止めライン2本 | 84 | 74 | 79 |
| すべり止めライン3本 | 88 | 80 | 84 |

グリップシュアの滑り止めは、アコヤ以外にも色々な樹種や素材の床板に加工することが可能です。
例）スギ、セランガンバツなどの南洋材、合成木材など



# NON-SLIP DECKING

## Applications

グリップシュアの滑り止め加工をしたデッキ床板は、デザインを制約すること無く優れた安全性を可能にし、季節に限らず天候の悪い時も安心して屋外生活が出来ます。

# CASE STUDY

## The Rising Path, Cambridge University, UK

ケンブリッジ大学植物園のThe Rising Pathプロジェクトに、グリップシュア滑り止め加工が施されたアコヤ製デッキが採用されました。

The Rising Pathは、1845年に設立された同植物にとってこれまでで最大のプロジェクトのひとつで、同植物園が今まで蓄積した知恵や知見を歩きながら体感でき、この印象的な構造により来園者は植物学への探求心を新たにすることを目的としています。

長さ65mの螺旋状のThe Rising Pathは、チャドウィック・ドライヤー・クラークスタジオによって、植物園の既存の小道から派生した緩やかな傾斜のあるボードウォークとして設計されました。このボードウォークを登り進めると頂点では植物園の大半を見ることができる高さ3mの展望エリアに到達します。

The Rising Pathの構造フレームは亜鉛メッキ鋼で作られ、床材などの木部は、耐久性能、環境性能、環境への安全性からアコヤ材が採用されています。一年中安全にアクセスできるように歩行面と階段に滑り止めが必要でした。このプロジェクトには延べ1300m以上のアコヤ製ノンスリップデッキ材が納入され、15年間のすべり止めの性能が保証されています。

The Rising Pathを登る途中には、地球上の植物の40数億年の進化の歴史の重要な出来事の幾つかがデッキ床板にグリップシュアの滑り止め加工を利用して書かれ来園者に情報と共に安全な足元を提供しています。

「このプロジェクトに対し、また我々デザインチームに対して、非常に前向きな協力を得ることが出来ました。植物の歴史を記述する箇所の文字の大きさや太さ、輪郭の鮮明さなども最適なものにベストなものにする為に多くの試作を試みました。結果は、デザインチームの期待を超える鮮明さと品質が、このプロジェクトで実現されたと思います。」
チャドウィック・ドライヤー・クラークスタジオ

# CASE STUDY

## The Wave, Bristol, UK

The Waveは、ブリストル郊外グロスターシャーの田園地帯にある世界有数の人工サーフィンレイクです。The Wave に使用されているWavegarden Cove®技術は1時間に1000本の波を作り出すことができ、プロや初心者のサーファーに完璧な波を作り出します。

The Waveを設計したAPGアーキテクツは、同じような環境でグリップシュアの滑り止めが使用されている事例を幾つも視察した後、レッドパインのデッキ材に3本の滑り止めが付けられたものを、このプロジェクトに選びました。この滑り止めライン3本タイプは、初期PTV値が85以上で、同種の製品群の中で最も高い滑り止め効果があります。

人々が屋外に戻り、身体活動を楽しみ、自然と触れ合うことをミッションとするThe Waveは、このプロジェクトの中心はサステナビリティを置き美しさと自然環境への影響の少なさを重視し、木材は森林に認証を受けた持続可能なスカンジナビア産レッドパインを使用しています。

The Waveの中央の桟橋にはグリップシュア・ノンスリップデッキが設置され、来場者は波に乗るサーファーたちを眺めることができます。敷地内を見渡しながら軽食が楽しめるクラブハウスのテラスや、自然保護区域の遊歩道や客席にもグリップシュア・ノンスリップデッキが使用されています。

「私たちは、サーファーの安全、特に施設内のドライエリアからウェットエリアへ移動する時の安全を最重要視しました。グリップシュアの滑り止めは、この私たちの課題を解消してくれました。」
APGアーキテクツ

# SAFETY WITHOUT COMPROMISE
## WITH NON-SLIP DECKING

GRIPSURE®
keeps you on your feet


グリップシュア・ノンスリップシステム日本製造販売元

池上産業株式会社

〒729-0105 広島県福山市南松永町4-2-36
TEL 084 933 8856
Email：woodwise@ikegami.net
WEB woodwise.jp